

障がい者と目指す「共に生きる」社会 福祉をビジネスにする試み



出版した本を手にする榎本社長(左)と砂長さん

『障がい福祉』で書籍刊行

障がいの法定雇用率が4月から引き上げられる。民間企業で働く障がいの数は昨年6月1日時点で49万人を超えて過去最多を更新するなど、企業の障がい者雇用は年々増加している。保険業界でも、特例子会社を設立して、積極的に障がいの雇用の進める動きが見られる。働く仲間として障がい者を迎えるために、企業が考慮すべきことは何か。このほど、福祉をビジネスとして軌道に乗せた企業家を紹介する『障がい福祉の学びで得られるべき5人のビジネス』(ラブリナ出版)が刊行された。執筆者の一人、ぜんち共済の榎本重秋社長と監修した砂長美んさんに、障がい者と共に生きることを、人を幸せにするための企業・ビジネスについて話を聞いた。砂長さんは、ディスレクシアという読み書き障がいの当事者でありながら、一般社団法人「ありがとうショップ」代表として、障がい者施設で作った商品の企画開発・コンサルティングを行っている。

二人の出会いは。砂長 発達障がいの一つであるディスレクシアを広く知ってもらうためのドキュメンタリー映画に主演したのを機に、全国で上映会と講演を行うようになった。川崎市の障がい者就業施設のオ

ー二人の出会いは。砂長 発達障がいの一つであるディスレクシアを広く知ってもらうためのドキュメンタリー映画に主演したのを機に、全国で上映会と講演を行うようになった。川崎市の障がい者就業施設のオ

人を幸せにするための企業とは

ー二人の出会いは。砂長 発達障がいの一つであるディスレクシアを広く知ってもらうためのドキュメンタリー映画に主演したのを機に、全国で上映会と講演を行うようになった。川崎市の障がい者就業施設のオ

ン時に、映画の上映会を行った際、そこに、榎本さんが来ていた。榎本 美んちゃんは有名な人だったので、いつか会えると思っていた。出会った時は、「美んちゃん、やっと会えたね」という気持ちで、すぐに意気投合した。その後、ぜんち共済の宣伝担当顧問になってもらえないか頼んだ。障がい者のための保険を扱う会社で働く者として、「障がいとはどういうものか」を障がいのある人と接する中で学んでいかなければならぬ。美んちゃんには発達

た時は、本当にうれしかった。――本書を作るきっかけは。砂長 自身、過去に生保販売に携わった経験があり、「保険の良さを知ってもらうためにはどうしたらいいか」と考えた結果、本の出版を思い付いた。保険と関わりの深い「暮らす」の他、「学ぶ」「働く」をテーマに、いろいろな福祉の企業家の話をまとめた面白いのではないかと考えた。他の執筆者も、二人が活動する中で知り合いになった人たち。榎本 この本の書き手はそれぞれ、美んちゃんという強力な「接着剤」が欠かせない縁だ。砂長 クラウドファン

デザインで出版費用を募り、約100人が寄付してくれた。ありがたいことに、初版1200部がすぐに完売し、1カ月で増刷になった。――どんな本にしようと思ったか。砂長 一般的に福祉の本というのは、「泣いて笑って太陽が昇った」みたいな感動話が多い。自分が当事者ということもあり、「感動している場合じゃないでしょう」という思いがまずあった。「障がい者が頑張っているんです、買ってくだ

ださい」と人のお情けにすぎるとなるとか「障がい者という冠が付くだけで価値が高まる」といった風潮には違和感がある。「誰かに助けてもらうのが当たり前とされる障がい者関連の世界を変えたい」という自分の哲学を込めた。「助ける」「支援」という言葉のみな使用したが、それは同じ人間の目線での物言いでない。私を含め、5人の書き手は全員福祉をビジネスにした企業家。私たちが挑戦しているのは、障がい者にとっての「新しい自立のカタチ」を示すことなのだと思う。榎本 ぜんち共済としても、障がい者のための保険はビジネスとして成り立ち、きちんとペイできるといふことを証明したい。5人はみんな、そうした志を持っている。――執筆者には、砂長さんのように自身が当事者だったり、家族の中に障がい者がいる人もいます。砂長 私は障がいのため、これまで受験に失敗したり、ミスが多くて何度も会社を解雇されたりしてきました。でも、障がいを隠さずに、苦手なことは無理せず誰かの助けを借りるようになってから、とても楽しく生きられ

榎本重秋さん
砂長美んさん

ありがとうございますショップ代表

た。ぜんち共済でも、経営陣で「障がい者が伸び伸び働ける会社にするには、どうしたらいいだろう」と話し合っている。障がい者も普通に働けるといふことを中小企業の人たちに伝えたい。そして、障がい者の雇用を実践する会社を一つでも多く作りたい。

【榎本重秋(えのもとしげあき)氏のプロフィール】1965年東京都町田市生まれ。外資系保険会社を経て、2006年にぜんち共済設立、代表取締役社長。神奈川県中小企業家同友会理事・ダイバーシティ委員会委員長。中小企業家同友会全国協議会障害者問題委員会副委員長。14年度厚生労働省「精神障害者等雇用優良企業認証事業」委員。